




※講師及び開催日は変更することがあります。

|         |  |   |
|---------|--|---|
| 研修名     | 森林・林業業務推進研修<br>(①調査方法 ②検査・設計業務 ③路網整備の技術と実務)  | G 3   |
| お薦めポイント | 森林整備の委託や工事を担当される方、ぜひ受講してください。<br>森林整備の委託や工事発注に必要な調査・設計・検査の方法を学び、工事発注に活かします。路網計画の基本も学べます。   |   |
| 背景と目的   | 令和元年度から、森林環境譲与税が森林の無い市町村も含めた全ての市町村へ譲与が開始され、その用途は「森林整備（間伐、新たな森林経営管理制度に要する費用など）及びその促進（人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発）に関する施策」に要する費用に充てなければならないとされています。<br>このため、市町村職員等を対象に、林業施策を検討するための森林資源調査方法、路網配置計画や設計・施工方法、円滑な森林整備工事の施工に向けた知識・技術を習得する研修を実施します。 |   |
| 到達目標    | 森林資源調査方法、森林整備事業の設計・積算方法、監督・検査業務の留意事項、路網配置計画の作成、路線設計・作設の方法の習得。  |   |
| 受講要件    | 市町村職員等   |   |
| 定員      | 各15名（最少催行人数各5名）  |   |
| 開催場所    | 愛知県森林・林業技術センター   |   |
| 講師      | ① (株) 中部森林技術コンサルタント 真柄泰央 氏ほか<br>② 愛知県農林基盤局農地部農林総務課職員<br>③ (株) 中部森林技術コンサルタント 黒田真一 氏ほか   |  |
| 開催日     | ① 令和8年7月7日（火）<br>② 令和8年7月9日（木）<br>③ 令和8年8月18日（火）   |   |
| 内容      | ①（調査方法）森林資源の調査や整備方法、施業方針についての知識と技術の習得<br>②（検査・設計業務）森林整備事業の設計、積算方法、監督・検査業務について<br>③（路網整備の技術と実務）効率的な作業システムを構築する上での基本的な考え方、路網配置計画の作成、路線設計、作設の具体的方法と留意事項   |   |
| 教材      | 講師作成のテキスト  |   |
| 備考      | ③：【C1】路網作設技能者育成研修「路網配置計画の作成、路線設計・作設の方法」と同日開催。<br>①②③：【G6】地域林政アドバイザー研修必須科目。   |   |

※講師及び開催日は変更することがあります。

|         |   |   |
|---------|---|---|
| 研修名     | 森林管理研修（①森林経営管理法）  | G 4①  |
| お薦めポイント | 林野庁より森林環境譲与税の活用例、森林経営管理制度の実例などを紹介。ぜひ自身の市町村での活用方法の参考としてください。   |   |
| 背景と目的   | 平成31年度から、森林経営管理法が施行され、森林経営管理制度の下で、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の取組を、それぞれの市町村が地域の実情に応じて実施できることとなっています。本研修では、森林経営管理制度の目的・内容、意向調査から経営管理実施権配分計画策定までの流れ、制度の活用事例などを学びます。       |   |
| 到達目標    | 森林経営管理制度の目的・内容、意向調査から経営管理実施権配分計画策定までの流れ等を把握する。  |   |
| 受講要件    | 市町村職員等  |  |
| 定員      | 20名（最少催行人数5名）   |   |
| 開催場所    | 岡崎市内（西三河総合庁舎）を予定  |   |
| 講師      | 林野庁職員（予定）   |   |
| 開催日     | 令和8年7月上旬  |   |
| 内容      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営管理法及び森林経営管理制度の目的と内容</li> <li>・意向調査から経営管理実施権配分計画策定までの流れ</li> <li>・所有者不明森林の特例措置及び対応等について</li> <li>・森林経営管理制度活用事例の紹介</li> </ul> |   |
| 教材      | 講師作成のテキスト   |   |
| 備考      | 【G6】地域林政アドバイザー研修必須科目  |   |

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 研修名     | 森林管理研修（②林業ICT技術（森林クラウドシステム基礎操作研修））   | G 4②   |
| お薦めポイント | 森林クラウドシステムを触ったことのない方、新しく森林計画担当になった方、ぜひ受講してください。まずは基本操作を覚えましょう。   |  |
| 背景と目的   | 愛知県では、林業におけるICT技術の普及を進めており、令和3年度末に森林のある全市町村の航空レーザデータの解析を終了しました。この解析データは、森林資源量の把握、林道・作業道の開設計画、境界確定のための基礎資料等に活用することができます。本研修では、森林クラウドシステムの基礎操作を学びます。 |  |
| 到達目標    | 森林簿・森林計画図など森林情報の確認、路網計画のための地形の把握、森林境界の推定等に有利な森林クラウドシステムの基本操作方法を学ぶ。   |  |
| 受講要件    | 市町村職員等   |  |
| 定員      | 各15名（最少催行人数5名）   |  |
| 開催場所    | 名古屋市内を予定   |  |
| 講師      | アジア航測株式会社 職員   |  |
| 開催日     | 令和8年5月19日（火）   |  |
| 内容      | 航空レーザデータの解析データを用いた <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林資源量の把握の方法</li> <li>・林道・作業道の開設計画の作成</li> <li>・境界確定のための基礎資料の収集</li> </ul>               |  |
| 教材      | 講師作成のテキスト  |  |
| 備考      | パソコン操作あり   |  |

※講師及び開催日は変更することがあります。

| 研修名     | 地域林政アドバイザー研修  |                   | G  | 6         |
|---------|---|-------------------|--|-----------|
| お薦めポイント | 自分の市町村の森林計画を考えるため、地域の市町村の森林管理のアドバイスのため、必要な基本事項を学びます。<br>全ての科目を修了し「地域林政アドバイザー」として登録しましょう。  |                   |  |           |
| 背景と目的   | <p>民有林行政において、地域に密着した行政主体である市町村の役割は年々重要性を増しており、その内容も徐々に高度化しています。</p> <p>平成31年度からは、森林環境譲与税の譲与が開始され、また森林経営管理制度の下で、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の取組を、それぞれの市町村が地域の実情に応じて実施できることとなりました。</p> <p>本研修では、今後、森林資源の成熟を、地域の林業・木材産業の成長産業化、地方創生につなげていくために地域林政を支援するアドバイザーを養成します。</p> |                   |  |           |
| 到達目標    | 地域林政アドバイザーに必要な知識・技術の習得し、修了証を得る。   |                   |  |           |
| 受講要件    | 市町村職員等  |                   |  |           |
| 定員      | 10名（最少催行人数3名）   |                   |  |           |
| 開催場所    | 科目による   |                   |  |           |
| 講師      | 科目による   |                   |  |           |
| 開催日     | 科目1・3・5（※1：令和8年7月上旬（1日程度））<br>科目2 ※1とG4①を受講<br>科目4 G3①②③を受講   |                   |  |           |
| 内容      | 科目  |                   | 詳細   | 開催日       |
|         | 1   | 森林計画制度、森林法令（1.5h） | 森林計画制度、森林法令（市町村森林整備計画、伐採及び伐採届出後の造林届出等制度、森林の土地所有者届出制度、林地開発許可制度、保安林制度）の目的・内容について | ※1        |
|         | 2   | 森林経営管理制度（4.5h）    | 森林経営管理制度の目的・内容について   | ※1+G4①を受講 |
|         | 3   | 森林経営（1h）          | 森林経営における森林経営計画制度、境界明確化、施業集約化の目的・内容について   | ※1        |
|         | 4   | 森林整備（17h）         | 森林整備における伐採、造林及び路網整備の技術や実務について  | G3①②③を受講  |
|         | 5   | 森林情報の活用（0.5h）     | 森林情報（林地台帳の整備・運用、森林GIS）の活用について  | ※1        |
| 教材      | 科目による   |                   |  |           |
| 備考      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・※1については、森林計画業務研修（農林基盤局林務部林務課 企画・森林計画グループ主催）を受講してください。</li> <li>・科目2は※1とG4①、科目4はG3①②③各々受講してください。</li> <li>・全科目の修了により、地域林政アドバイザー活用推進要綱に基づく研修修了証を交付します。</li> </ul>   |                   |  |           |